

陳情第 **1** 号



新倉・下新倉地域への中学校建設に関する陳情

新倉・下新倉地域への中学校建設に関する陳情

【要旨】

和光市駅北側に在住する中学生が安全かつ健やかに学生生活を送ることができるよう、新倉・下新倉地域への中学校建設を要望します。

【理由】

和光市駅北側地域には中学校が配置されていないため、当該地域の生徒の多くが市内中部の大和中学校まで通学しています。地域によっては、通学に30分以上もかかるケースもあり、中学校が3校点在する和光市駅南側地域に在住する児童に比べて、当該地域の生徒は通学にかかる負担が大きいものとなっています。

また、前述の大和中学校は広域からの生徒が集中するために、生徒一人当たりのスペースが市内均衡を著しく失った状況下に置かれています。

平成30年5月1日（単位 m²）

学校名	生徒数 A	児童1人 当たり B/A	校地面積 B=a+b	建物面積 (注1)	運動場 (注2)	延べ面積 (注3) C+D	校舎 C	体育館 D
				a	b			
大和中	804	25.1	20,176	4,072	16,104	9,637	7,920	1,717
第二中	393	48.4	19,032	3,447	15,585	7,198	6,164	1,034
第三中	518	46.3	23,963	2,578	21,385	6,794	5,623	1,171

上記問題への対応策として、平成21年より学校選択制が導入されているものの、和光市駅北側地域に中学校が建設されない限り、根本的な解決にはつながらないと考えられます。

大和中学校の学区内にある、白子小学校、新倉小学校、第三小学校、下新倉小学校の生徒数は平成28年度から30年度にかけて合計で128名増加（市内全域の小学校では合計212名増加）しています。児童が健やかな学校生活を送れるように速やかな対応を講じていただくことを要望します。

最後に、平成21年8月7日付の「和光市立小中学校の適正配置・適正規模検討委員会」による「和光市教育委員会」への答申でも、北部地域に中学校を新設することが望ましいと結論づけられています。将来ある生徒の健全な学校生活の確保を中心として、市内均衡や今後の状況を考慮し、新倉・下新倉地域へ中学校1校を建設いただくことを強く要望します。

令和2年6月19日

和光市議会議員 吉田武司 様

陳情代表者

住 所 埼玉県和光市白子 3-20-11-108

氏 名 小山 和哉